

## 『腎臓病の検査～血清クレアチニンについて～』

小田 稔 腎センター長

血清クレアチニンは腎臓の働きに異常が起きていないか調べるために使われます。クレアチンは筋肉がエネルギーを発生させる際に作られる老廃物の一つで、そのほとんどが腎臓の糸球体から排泄されます。そのため、血液中のクレアチン増加は糸球体のろ過機能が低下していることを意味します。しかし、クレアチンは腎機能(糸球体ろ過率)が50%以下になるまで上昇しないため、クレアチンが上昇した時は糸球体ろ過機能が半分以下になっていることを意味します。クレアチニンの数値は日常生活で起こる軽い脱水や運動により変動しますので、継続して数値を追っていくことが必要です。

基準値に関しては性別・年齢・体格などによって多少の違いはありますが、当院では血清クレアチニンが男性1.1mg/dl以下、女性0.8mg/dl以下を一般的な数値としています。また、患者状態にもよりますが、8.0mg/dl以上になると透析導入の検討を行っています。

当院は日本透析医学会認定施設で、認定医が2名常勤しており、外来での保存期治療から透析導入、維持透析、LDL吸着などのアフターケア療法を中心に行っています。

腎臓病・腎機能障害は、早期に発見し適切な治療を行うことで病気の進行を遅らせることが可能です。患者さんをご紹介いただいた場合は、かかりつけの先生と連携を図りながら、治療を進めております。腎臓に関してお気軽にご相談いただければと思います。



### ●介護支援専門員合同勉強会 (平成30年11月20日)

第2回目となる今回は、介護支援専門員の方々の普段の業務にお役立て頂けるようなテーマで、湯瀬敦薬剤師による「高齢者における薬に関する注意点」と、水田達也言語聴覚士による「在宅でできる嚥下リハビリ～アセスメントと食支援の実践～」の講演を行いました。



### ●第31回 院外糖尿病教室開催 (平成30年11月15日)

当院では、11月の全国糖尿病週間に合わせて毎年糖尿病教室を開催しています。今年もオークワ箕島店にて、医師・薬剤師・管理栄養士による健康相談や栄養指導、血圧・血糖・体脂肪の無料測定などを行い、46名の参加がありました。



### ●第26回 日本慢性期医療学会 in 鹿児島

(平成30年10月11・12日 於:SHIROYAMA HOTEL Kagoshima)

テーマ

「病院での認知症カフェ開催  
の意義と今後の課題」

発表者

児嶋 剛弘 看護主任



一般演題座長  
濱 真理子 総看護師長

### ●第23回和歌山県病院協会学術大会・第17回和歌山県病院大会

(平成30年10月28日 於:ホテルアバローム紀の国)

テーマ

「人生の最終段階における医療での  
栄養療法に関する意識調査  
～医療従事者の観点で～」

発表者

北山 佑貴 看護師  
(嚥下・栄養サポートチーム)



◆優秀職員会長表彰  
濱端 一吉 臨床工学技士長(勤続22年)  
◆永年勤続者会長表彰  
片山 由美子 看護師(勤続21年)



### 労働安全衛生委員会の活動について

労働安全衛生委員会では、職員の健康状態の把握や防災訓練の実施、防災対応に関する教育などを中心に職員の健康と職場での安全を守るために活動しています。

職員の健康に関しては、身体健康管理だけでなく、ストレスチェックやアンケートを行いメンタルヘルスケアにも努めており、職場の安全においては、防災訓練を年2回実施し、地震や火災を想定した対応や患者避難などについて訓練や消防署隊員指導のもと心肺蘇生法やAEDの使用方法などの実技訓練も行っています。

昨年は和歌山県に大型台風が立て続けに上陸し、防災対策の重要性を再認識しました。当院にも防災対応マニュアルがありますが、マニュアル通りに対応できない部分もありました。各部署からの意見を聞き、実践可能なマニュアル作成を行い職員が迅速な行動を取れるようにしたいと思います。



防災訓練の様子

また、当院は災害時医療支援活動指定病院であり、AMAT(All Japan Hospital Medical Assistance Team)隊員養成研修を修了した隊員が所属しています。院内だけでなく、院外への活動にも目を向け取り組んでいきたいと思っています。

また、当院は災害時医療支援活動指定病院であり、AMAT(All Japan Hospital Medical Assistance Team)隊員養成研修を修了した隊員が所属しています。院内だけでなく、院外への活動にも目を向け取り組んでいきたいと思っています。